

## 経歴

オン・ケンセン

- 1963 シンガポールに生まれる
- 1988 シンガポール国立大学法学部卒業  
シアターワークス(シンガポール)アーティストディレクター就任
- 1992 シンガポールヤング・アーティスト賞(演劇部門)
- 1993 フルブライトフェロー(ニューヨーク大学大学院パフォーマンス研究専攻修士課程)  
ニューヨーク・アジア・カルチュラル・カウンシル(ACC)フェロー
- 1995 ニューヨーク大学大学院パフォーマンス研究専攻修士号
- 1996- シアターワークス『フライング・サーカス・プロジェクト』展開  
[アジアの古典芸能アーティストと現代芸術アーティストの相互交流を目指した実験的プロジェクトをベトナム、ラオス、カンボジア、シンガポールなどアジア各地で展開]
- 1999 国際交流基金フェロー
- 1999- アーツネットワークアジア(ANA)設立  
[アジアの芸術家への助成ネットワークを立ち上げ、文化的対話、コラボレーションの支援を行う]
- 2001-03 ベルリンにて『イン・トランジットフェスティバル』(世界文化の家主催)キュレーター
- 2002-03 『コンティニュームアジアプロジェクト』展開  
[ラオス、ルアンプラバンにて「ラーマヤナ」に基づく伝統芸能の復活上演を行い、10代の若者のためのオルタナティブ芸術プログラムを展開]
- 2003 国際パフォーミングアーツ協会(IPSA)より優秀芸術家賞  
シンガポール文化勲章(演劇部門)
- 2004 アムステルダム・ダスアーツ(パフォーミングアーツ修士課程)講師
- 2005 横浜トリエンナーレにて『フライング・サーカス・プロジェクト』(横浜特別版)開催  
ロンドン現代芸術研究所の招きにより『Insomnia@ICA(不眠@ICA)』上演、新進気鋭の若手アーティストを演出  
ベルリン世界文化の家にて、東南アジアの現代芸術家のためのプロジェクト『Spaces and Shadows(空間と影)』キュレーター
- 2008 ロッテルダムにて芸術祭『I AM HERE, THE TIME IS NOW』(ヨーロッパ文化基金主催)キュレーター
- 2009 ニューヨーク・アジア協会国際評議員就任

## 主な演出作品

- 『ビューティーワールド』東京、大阪、広島、福岡, 1992
- 『リア』東京、大阪、福岡、香港、シンガポール、ジャカルタ、パース、ベルリン、コペンハーゲン, 1997-99
- 『デスデモーナ』アデレードフェスティバル、シンガポール・アーツ・フェスティバル, 2000、福岡アジア美術館, 2001
- 『コンティニューム-虐殺の場所の彼方へ』アメリカ・ニューヘイブン市アーツ&アイデア国際フェスティバルの委嘱で米国エール大学にて初演、イスタンブール、リヨン、メルボルン、ブノンペンなど世界中で上演, 2001-10
- 『Dreamtime in Morishita Studio』東京, 2001
- 『サーチ・ハムレット』クロンボー城, デンマーク, 2002
- 『ザ・グローバル・ソウルーズ・ブダブダプロジェクト』世界文化の家, ベルリン, 2003
- 『サンダカン葬送歌』シンガポール・アーツ・フェスティバル、メルボルンフェスティバル, 2004
- 『ゲイシャ』リンカーンセンター, ニューヨーク, 2006
- 『ディアスポラ』エジンバラ国際フェスティバル, 2009
- 『セツアンの善人』欧州文化首都プロジェクト2009, リンツ, オーストリア, 2009